

## 「海外ターボ機械ユーザの最新技術要求」

昨年度の第 127 回セミナー「海外ターボ機械ユーザの最新技術要求」の続編のご案内です。

不安定な世界情勢と原油価格下落の煽りを受け、世界的に海外石油・ガスプラント建設業界では新規案件の開始が遅れています。案件が減少する中ますます受注競争は激化し、プラントエンジニアリングコントラクター、ターボ機械メーカー、周辺装置メーカーともに新たな対応が必要になっております。最近の海外プロジェクトでの要求・トラブル事例を紹介し傾向を共有することで、国内ターボ機械業界の国際的競争力強化への一助と考えております。

日 時：2017 年 11 月 17(金) 10:00~17:20 (9:30 開場)

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 03 会議室 (東京都新宿区大久保 3-4-1)

参加費：会員 32,400円, 非会員 43,200円, 学生 5,400円 (税込・テキスト含む)

### 【プログラム】

時間	テーマ	内容	講師 (敬称略)
10:00 ~ 11:15	海外顧客の変化と日本メーカーと海外メーカーの対応の違い	回転機械の API 適用目的、API の key Issue 変遷から見た技術進歩、海外顧客の技術動向、被駆動機・駆動機の選定とアサイメント契約、ヨーロッパ系とアメリカ系インペラ設計の相違と最適化、アプリケーション・エンジニアリングの日本・海外の相違、IoT 時代に向けて回転機械エンジニアが学ぶべき事項について解説する。	坂口 順一 元千代田化工建設
11:25 ~ 12:40	ヒューマンオリエンテッドなターボ機械の設計手法の紹介	安全設計、環境配慮、操作性やミスを防止する設計要求といった最近のプラント設計要求を、ターボ機械へ適用する場合に考慮すべき点について、事例を交えて解説し、実践力の向上をめざす。	斉藤 司 日揮
【昼休み】			
13:40 ~ 14:55	海外顧客とエンジニア会社のターボ機械選定手順の傾向と対策	海外顧客の要求動向とプラントエンジニアリング業務遂行手順の面から、ターボ機械選定とエンジニアリングがどうよに行われているかを説明し、ターボ機械メーカーが応れざる際に注意すべき点について、事例を交えて解説し、実践力の向上をめざす。	青山 大造 千代田化工建設
15:05 ~ 16:20	据付・プレコミ・試運転に関するターボ機械・周辺機器への設計上の要求	主にターボ圧縮機トレーンとその周辺機器を例に、据付、プレコミ、試運転にかかる要求事項を取り上げ、ユーザ側の視点、事例から、ターボ機械メーカー側で設計段階からあらかじめ考慮しておきたい事項について解説する。	高畑 博之 東洋エンジニアリング
16:30 ~ 17:20	パネルディスカッション	『スペックの理不尽な要求』『API 規格に対する不満点』『日本メーカーの良い点悪い点』等々に関して、パネラーの経験を紹介し、会場のセミナー参加者からも率直に意見を出して頂き、普段疑問や不満に思っていること討議する。	坂口、斉藤、 青山、高畑

※プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください。

- ・ 申込方法：E-mail または FAX で、①参加者名、②連絡先住所・電話番号・Email、③社名(学校名)・所属、④会員/非会員の別 を明記の上お申し込み下さい。お申し込み後請求書と受講票を郵送します。
  - ・ 参加費は事前に、銀行振込にてお支払い下さい。
  - ・ 振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金 1142994 一般社団法人 ターボ機械協会
  - ・ 申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル  
ターボ機械協会事務局 (TEL: 03-3944-8002、FAX: 03-3944-6826、E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)
  - ・ 申込期限：定員になり次第締切ります。申込後のキャンセルはお断りしております。
- ※ ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 6 ポイントです。」

1. 海外顧客の変化と日本メーカーと海外メーカーの対応の違い

講師：坂口 順一

- 1.1 API Std は誰のためにあるか
- 1.2 API の Key Issue の変遷
- 1.3 回転機あるいは駆動機の顧客支給は成立するか
- 1.4 アプリケーション・エンジニアリングの日本・海外の相違と問題点
- 1.5 IoT 時代に向けて

2. ヒューマンオリエンテッドなターボ機械の設計手法の紹介

講師：齊藤 司

- 2.1 ヒューマンオリエンテッドな設計とは？
- 2.2 メーカー標準設計が認められなくなっている背景
- 2.3 ハズップスタディーの要点
- 2.4 HFE（ヒューマンファクターエンジニアリング）設計要求と適用事例紹介

3. 海外顧客とエンジ会社のターボ機械選定手順の傾向と対策

講師：青山 大造

- 3.1 ターボ機械はどのように選定されているか。
- 3.2 海外顧客の要求動向
- 3.3 プラントエンジニアリング設計とメーカー設計の関係
- 3.4 メーカーが応札する際に注意すべき点

4. 据付・プレコミ・試運転に関するターボ機械・周辺機器への設計上の要求

講師：高畑 博之

- 4.1 ターボ圧縮機トレーンとその周辺機器の据付、プレコミ、試運転にかかる要求事項
- 4.2 設計段階からあらかじめ考慮しておきたい事項
- 4.3 トラブル事例紹介

宛先 : Fax. 03-3944-6826 一般社団法人 ターボ機械協会 受付係

(〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26,

TEL: 03-3944-8002, E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

ターボ機械協会 第134回セミナー（平成29年11月17日 金曜日）

「海外ターボ機械ユーザの最新技術要求」参加申込書

参加者	氏名① 所属（部署名） 氏名② 所属（部署名） 氏名③ 所属（部署名） 氏名④ 所属（部署名）
請求書・受講票 発送先	〒 ご住所 会社名 ご所属 ご担当者名 電話番号 E-mail
会員・非会員	会員 o r 非会員 （いずれかに○をつけてください）

上記 名の参加を申し込みます。

\* ご記入頂の個人情報について、ターボ機械協会関連案内（入会・講習会・書籍）のお知らせのために使用することがございます。